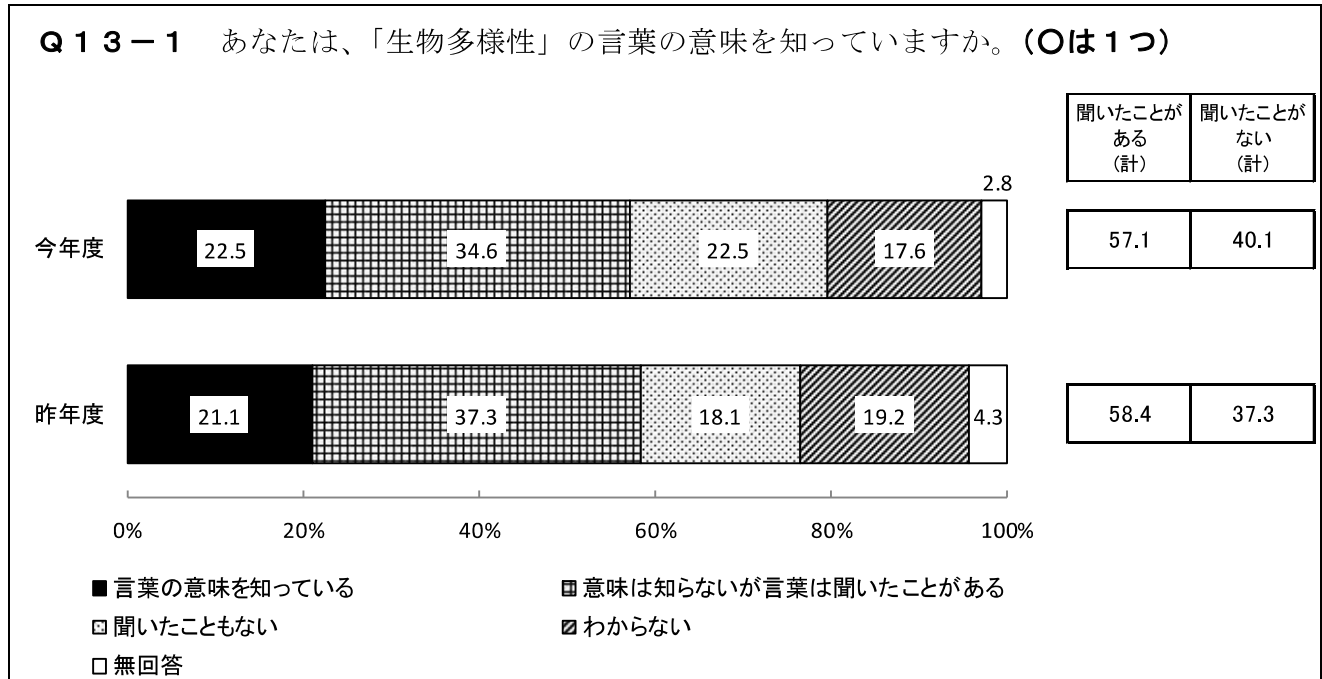


1.3. 生物多様性について

「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

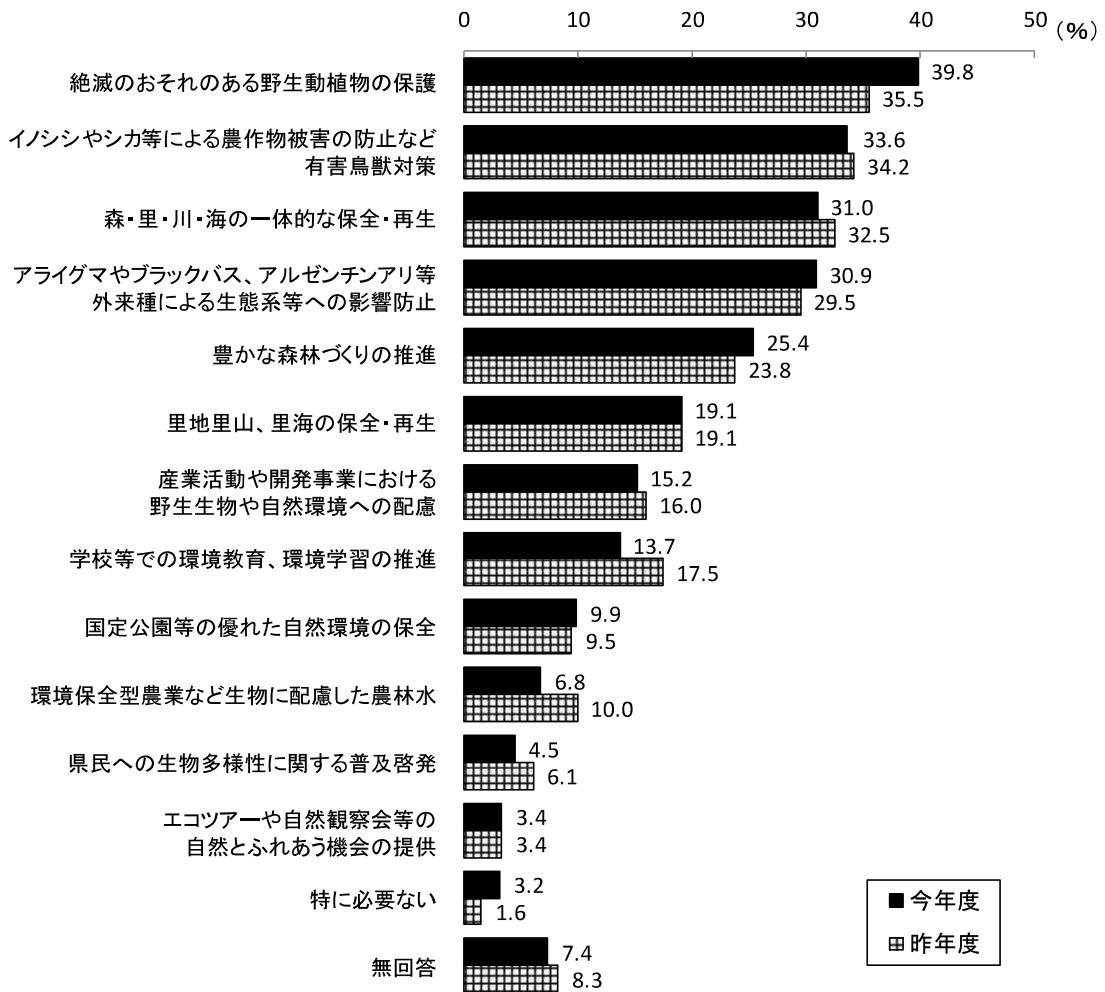
1.3-1. 「生物多様性」の認知状況



「生物多様性」の認知状況について、「言葉の意味を知っている」が 22.5%、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が 34.6%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがある (計)』は 57.1%となっている。また、「聞いたこともない」が 22.5%、「わからない」が 17.6%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがない (計)』は 40.1%となっている。昨年度と比較すると、『聞いたことがない (計)』が 2.8 ポイント上昇している。

13-2. 生物多様性を守るために必要な取組

Q13-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



生物多様性を守るために必要な取組について、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が 39.8%と最も高く、次いで「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が 33.6%、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が 31.0%、「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」が 30.9%、「豊かな森林づくりの推進」が 25.4%の順となっている。昨年度と比較すると、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」は 4.3 ポイント上昇、「学校等での環境教育、環境学習の推進」が 3.8 ポイント、「環境保全型農業など生物に配慮した農林水」が 3.2 ポイントそれぞれ低下している。